

## 昭和50・60年代 安定成長への移行と社会保障制度の見直し

- ・オイルショック以降、我が国の高度経済成長は終焉を迎え、国の行財政改革を迫られることとなり、社会保障制度についても様々な見直しが行われた。
- ・老人医療の無料化を見直すため老人保健制度の創設(1983)。また、被用者保険本人の1割負担の導入(1984)。
- ・基礎年金の創設による年金制度の再編成や給付水準の適正化を実施。(1985)

### 保健医療および衛生

- 老人保健制度の創設
  - ・老人保健法の制定
- 医療制度の改革
  - ・健康保険被保険者1割負担の導入
  - ・特定療養費制度の創設
  - ・医療計画の導入
- がん対策
  - ・対がん10カ年総合戦略の策定

### 福祉および所得保障

- 年金制度の改革
  - ・基礎年金の導入
  - ・給付水準の適正化
- 施設福祉から在宅福祉へ
  - ・ショートステイ事業、デイサービス事業の開始
  - ・ホームヘルパーの増員